

首里城周辺



Laion
琉球王家親族の御殿であった「松山御殿(マツヤマドワン)」跡地を利用した、お酒落なイタリアレストラン。沖縄の素材をふんだんに活かした料理を楽しみながら、緑溢れるテラスで昼下がりを楽しめるのも素敵です。
(098)884-0595 11:30~22:00(不特定)

県立博物館
沖縄の生活、自然、美術、歴史をテーマとする博物館。
9:00~17:00(入館16:30) (定休:月・祝)
大人210円 / 高大100円 / 小中50円
(098)884-2243

琉球茶房あしびつな
首里城そばの、隠れ家のような沖縄のカフェ。趣ある琉球庭園を眺めながら、心むひとときをお過ごしください。メニューは、沖縄そば、ゆし豆腐、石垣牛汁ほか。
(098)884-009 11:00~21:00(定休:水)

琉処 ていあんだー
沖縄そば専門店。化学調味料は一切使わないこだわりの自家製手打ちそばは、50食限定です。アツクな薫り漂う落ち着いた店内でどうぞ。
沖縄そば 500円 フーチーそばは 600円
(098)885-0887 11:00~16:00頃(定休:日・月)

守礼門
門に掲げられている『守礼之邦』とは「琉球は礼節を重んじる国である」という意味です。

首里城公園 奉神門での御開門(ウケジョー)
奉神門では、毎朝、門の開門時に「御開門」とよばれる儀式を行っています。琉球王朝時代の門番に扮した者がドラを叩き、「ウケジョー」の発声により奉神門を開門、采園者を迎えるそのさまは、一瞬遠か音にタイムスリップしたと錯覚するほど見事。早起きして出かけましょう。
首里城夜のライトアップも一押しです。
大人800円 / 高600円 / 小中300円 (098)886-2020
9:00~18:00(3~11月) 9:00~17:30(12~2月)

山城館頭
100年以上の歴史を誇る首里の名物館頭屋さん。もちりとした薄皮に、甘み控えめの粒餡がぎっしりです。懐かしい地よさを誘う月桃の香りと一緒に、アツクホクホクでどうぞ。1個80円。お持ち帰りもできます。
(098)884-9048 11:00~17:00(売切れまで) (定休:月)

この辺りからの夕焼け・夜景はとてきれい。

金城村屋(首里金城町の石畳)
美しい赤瓦屋根の家作りが印象的な「金城村屋(かなしくむらや)」。戦前の民家を再現した木造平屋の休憩所です。旅行者や地元で暮らす人々のための憩いの場所として、その歴史ある石畳の坂道途中に佇みます。まるきり家が寛くようにスニーカーを履いて、緑側でゆっくり休足するのもいいかもしれません。

いろは庭
伝統的な沖縄宮廷料理から庶民料理まで、家庭的なメニューもあふれる気分の昼間で楽しむことができます。ランチは沖縄の覇を大事に調理した石畳定食1500円(10品)がオススメです。
(098)885-3666 11:30~22:00(定休:第一火曜日)

那覇新都心



Dope Cafe
お酒落で可愛いムービングカフェ。むぎり美味しい本格派フレイバーコーヒーを、夜空の下で召し上がれ(ムービング)だけに、お店の車は時々別の場所に移動します。小さなワゴン「DopeCafe」を、気ままに探す新都心の夜も、なかなかディープで楽しいかもしれません。

イースターセブン
マックハウス
メガネ1番
迴鮮寿司 雅
ドコモ
ドラッグイレブン
カメラのキタムラ

新都心公園
ちょっと疲れたら・・・都会の中のアアシス「新都心公園」でひと休みしませんか。亜熱帯の島、沖縄を代表する巨大・ガジュマルの木陰で大きく深呼吸して、芝生の上をのんびり歩いたら、また気分フレッシュに旅を再開できるかも。

りうぼう楽市
大きな駐車場に車を停めて、忘れた旅の必需品はココで揃えちゃおう。スポーツショップ、りうぼう(スーパー)、百円ショップ、無印良品、ユニクロ、ベスト電器と、地元人が用達のショップが一堂に軒を連ねる「りうぼう楽市」です。
(098)941-1188 10:00~22:00(年中無休)

サンエー那覇メインプレイス
2002年10月にOPENしたショッピングセンター。衣料・食品・家電・レストラン・書店・旅行社。9つのシアターをもつ映画館「CINEMA Q」までと、店舗はなんと100以上。多くの地元客や旅行者で、毎日賑わいます。広い店内にはランチや休憩所が随所に設置されているから、腰をおろしたり散策(?)したりと、のんびりじっくりショッピングを楽しむことができるのも魅力のひとつ。商品館で「新鮮沖縄モノ」をCEして、悪天候時には、ゆったり映画三昧というのはいかげでしょう。待ち時間には、ブルーシールのアイスをどうぞ(映画館前)。
(098)951-3300 10:00~24:00(年中無休)